

西尾市地区別防災カルテ

①基本情報

地区No	21
地区名	荻原小学校

●地区の概況

市南部中央に位置する。広田川・矢作古川と矢崎川にはさまれた地区の大部分は氾濫平野または三角州で、両河川周辺には自然堤防が分布している。東部は丘陵地で、山裾と矢崎川の自然堤防の間には后背低地が広がる。名鉄西尾線および、主要地方道西尾吉良線が南北に走っている。

●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	1286 世帯	
65歳未満	2707 人	71.2 %
65歳以上	1083 人	28.5 %
合計	3804 人	

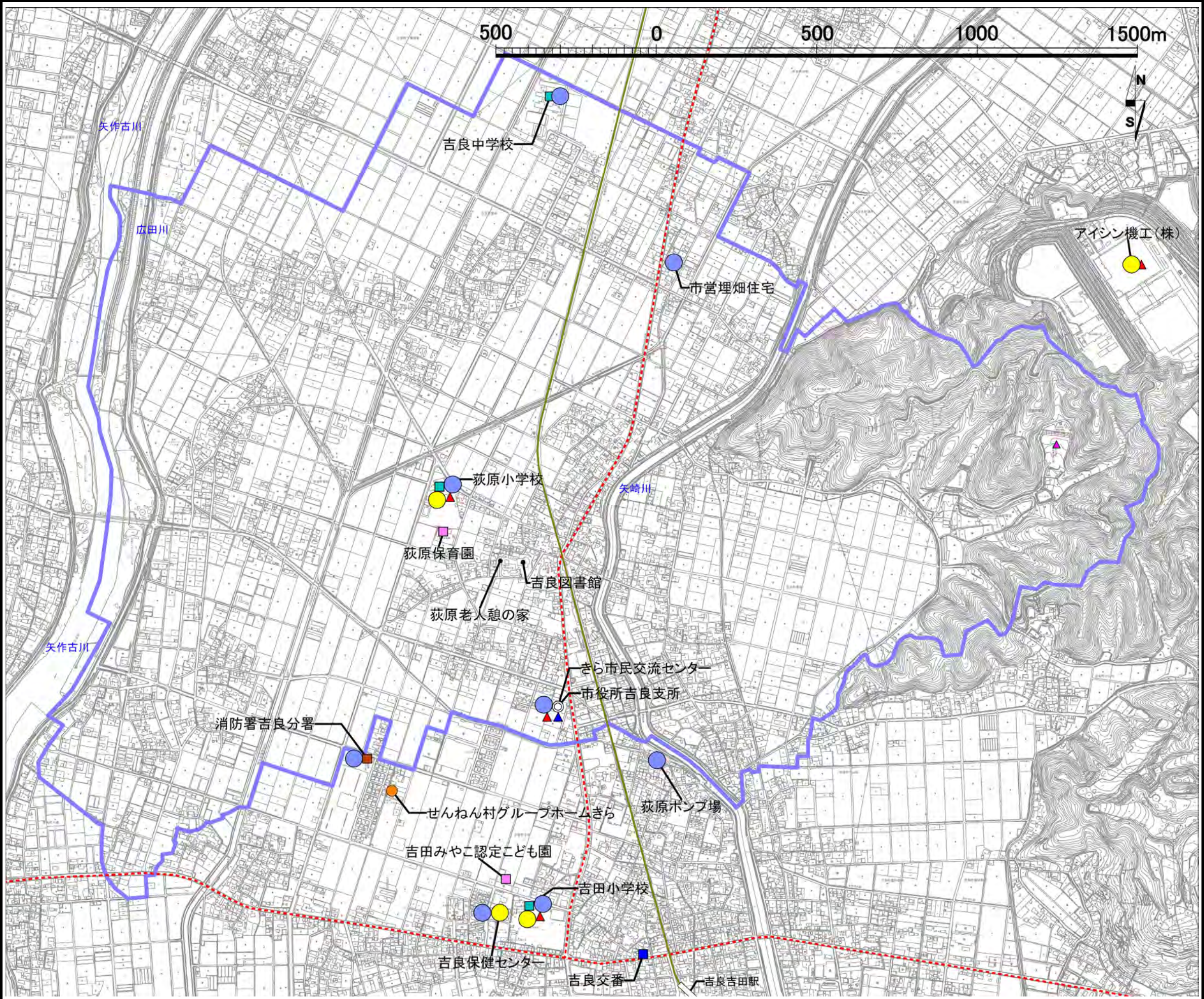
※合計値は年齢不詳の人口も含む

●地区の課題

洪水、津波、高潮発生時のいずれにおいても、東部丘陵地を除く地区の大半が浸水し、避難所が浸水するおそれもある。丘陵地では土砂災害の危険もある。
地震時は、全域で建物倒壊の危険性が高く、平野部の大半で液状化の危険性も高い。
地区内に1箇所ある指定避難所はいずれも浸水及び液状化による被害を受けるおそれがあるため、使用できなくなった場合は地区外への避難を検討する必要がある。

●凡例

● 指定緊急避難場所・指定避難所	■ 学校
● 津波一時待避所	■ 幼稚園・保育園等
● 福祉避難所	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
◎ 市役所・支所等	▲ 水防倉庫
■ 警察署等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
■ 消防署等	▲ 防災活動拠点
■ 救急病院	▲ 衛生施設
◆ 水位観測所	● その他の施設
◆ 雨量観測所	
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

②洪水被害・土砂災害

地区No	21
地区名	荻原小学校

●地区別大雨等被害の特性

東部丘陵地を除くほぼ全域が浸水想定区域で、矢作古川・広田川と矢崎川に挟まれた平野部を中心に広い範囲で、浸水深が3m以上5m未満となり、丘陵地では急傾斜地崩壊や土石流が発生する危険性がある。
指定避難所である荻原小学校は、浸水想定区域に含まれているため、当地区外の避難所として福地中学校が指定されている。

●避難環境評価

避難所収容者数	2138 人
避難者数	3804 人
最長避難距離	約 2.0 km

※避難所収容者数は洪水時のみの人数

●最大浸水深

対象全河川(重ね合せ)	3m以上5m未満
矢作川	3m以上5m未満
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	3m以上5m未満
朝鮮川	範囲外
矢崎川	3m以上5m未満
北浜川・二の沢川	範囲外
乙川	範囲外
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	1 箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	1 箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	2 箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	1 箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0 箇所

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(洪水・土砂時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所

学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

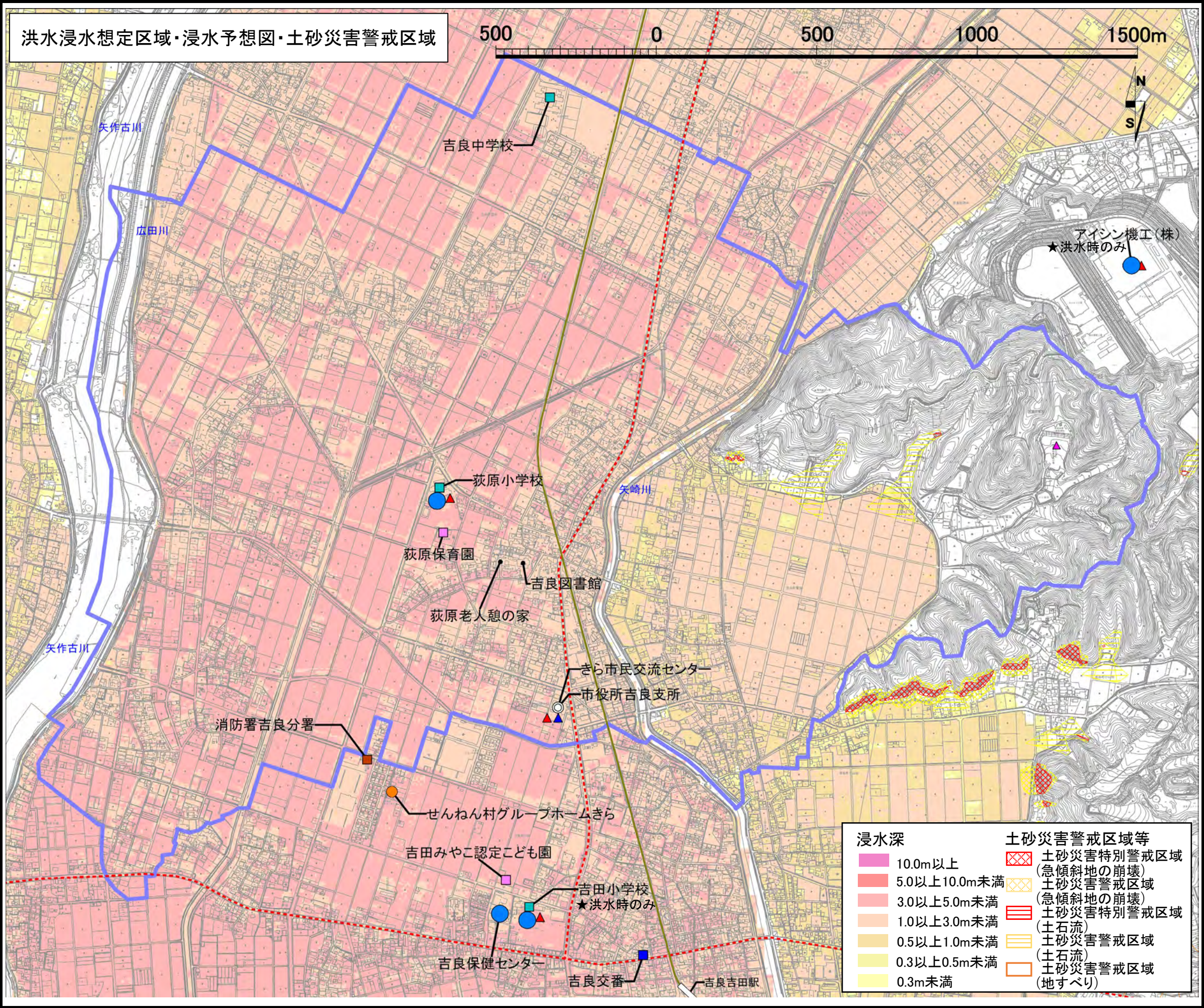
その他の施設

小学校区界

鉄道

市町村界

緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

③地震被害

地区No	21
地区名	荻原小学校

●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、ほぼ全域で震度6強、一部では最大震度7となる。(下図参照)
平野部では液状化の危険度が極めて高く、市役所吉良支所、荻原小学校、緊急輸送道路である西尾吉良線は液状化被害を受ける可能性が高い。

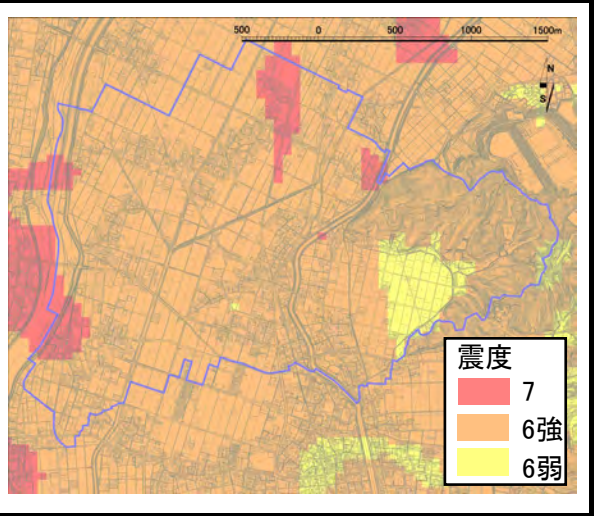
●避難環境評価 ※平成26年地震被害予測調査結果より

避難者数 ※津波による建物倒壊避難者も含む	2836 人
--------------------------	--------

●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

建物全壊数	561 棟
建物半壊数	1138 棟
死者数	128 人
重傷者数	37 人

●過去地震最大モデル震度分布図



●凡例

- 指定緊急避難場所・指定避難所(地震時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所
- 学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

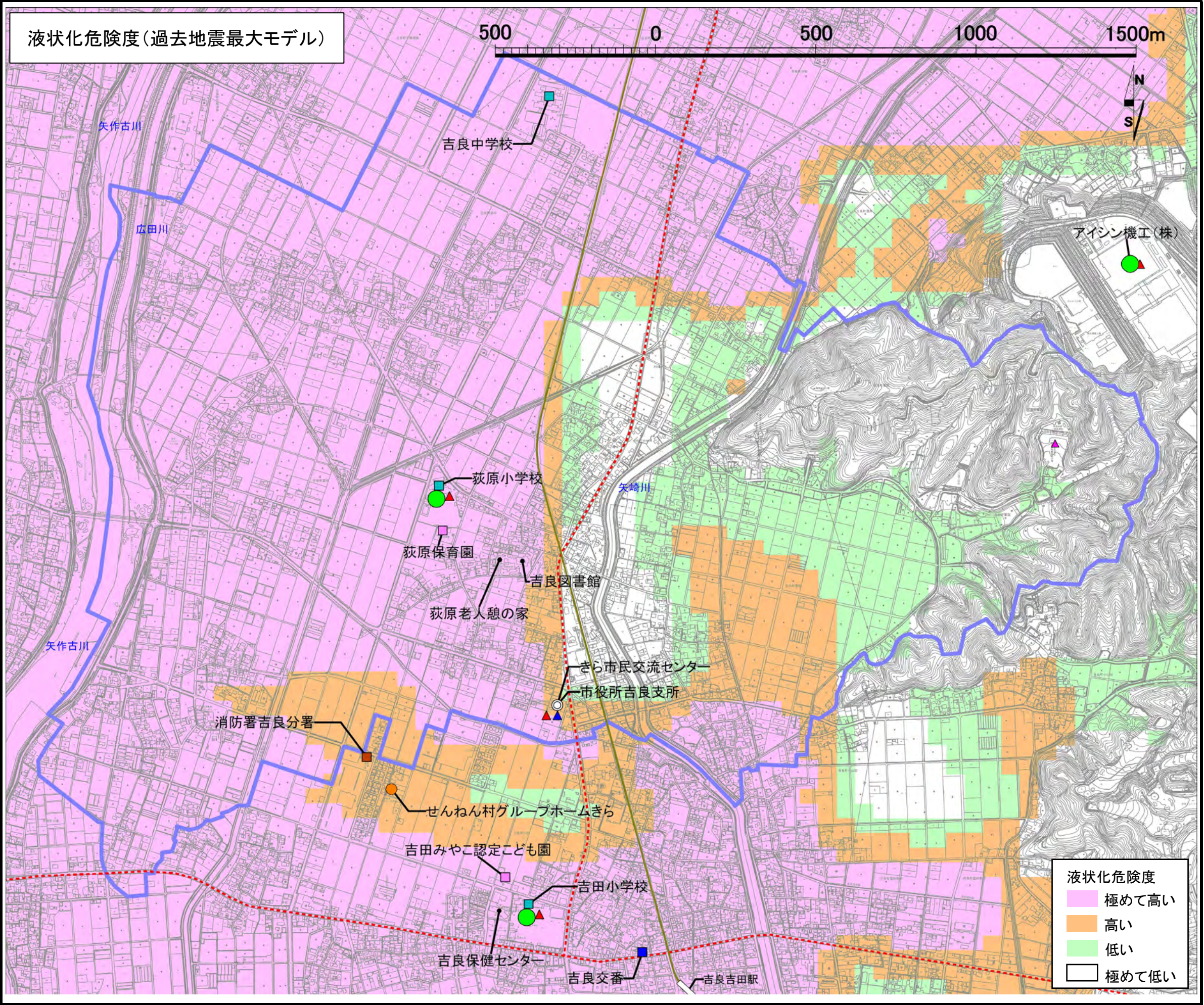
その他の施設
- 小学校区界

市町村界

緊急輸送道路

鉄道

液状化危険度(過去地震最大モデル)



西尾市地区別防災カルテ

④津波被害

地区No	21
地区名	荻原小学校

●地区別津波被害の特性

東部丘陵地を除くほぼ全域が浸水想定区域となり、広範囲で浸水深1m以上3m未満となる。避難目標は地区外にある横須賀小学校、横須賀保育園、アイシン機工(株)等である。逃げ遅れた場合は、地区内に4箇所ある津波一時待避所等へ避難することになるが、いずれも浸水想定区域内にあり、高層階へ避難する必要がある。

●避難環境評価

津波一時待避所収容者数	4430 人
避難所収容者数※1	0 人
避難者数	3804 人
津波浸水想定区域外までの距離※2	約 3.9 km

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画(令和5年4月修正)に記載された校区のみ記載している。

●津波浸水深

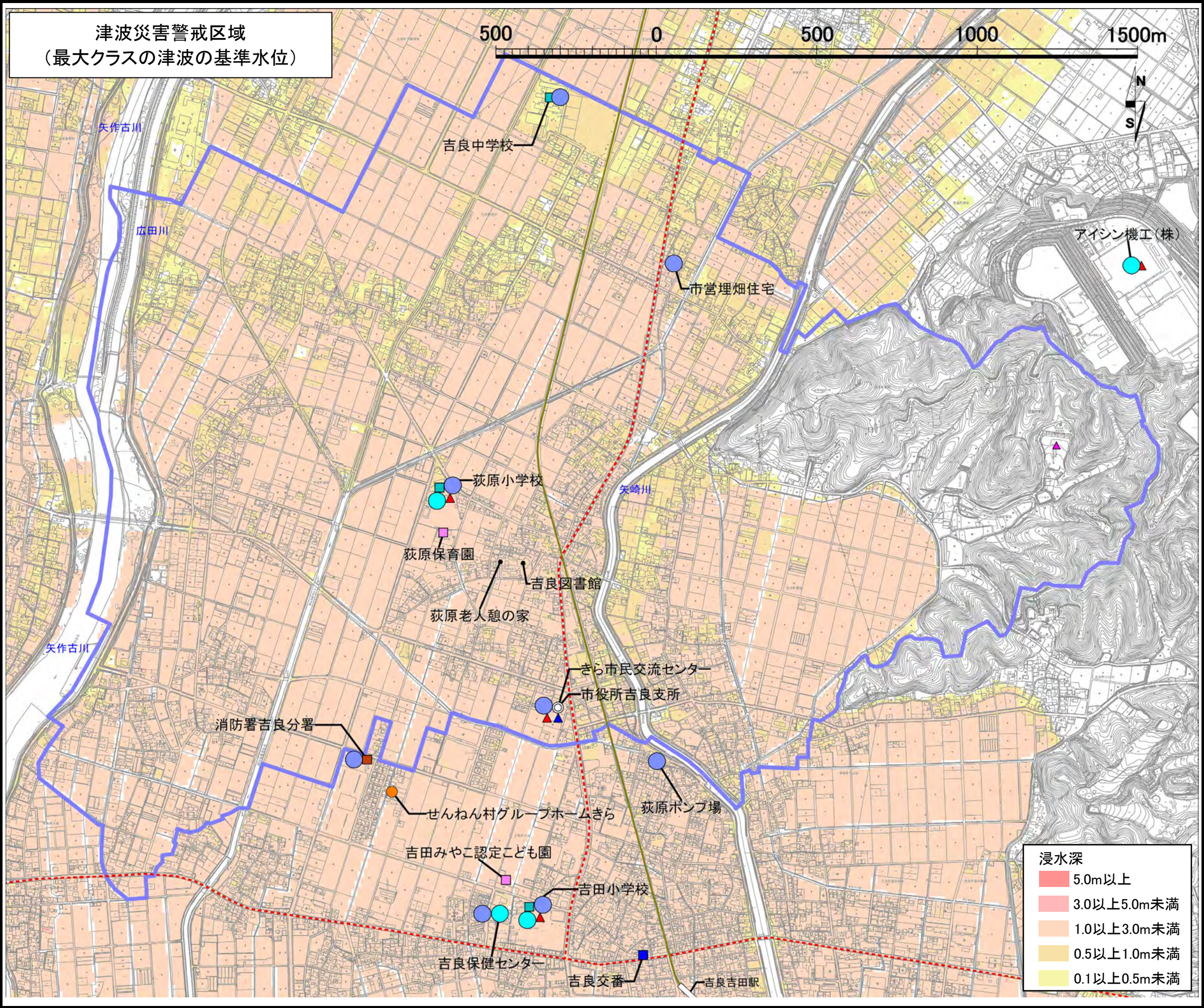
最大クラスの津波の基準水位	
最大津波水位	1m以上3m未満
過去地震最大モデル(参考)	
最大津波浸水深	2m以上3m未満

●津波発生時の避難先

避難目標:横須賀小学校、横須賀保育園、横須賀ふれあいセンター、アイシン機工(株)
緊急避難先:荻原小学校、吉良中学校、市営埋畑住宅、きら市民交流センター

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(津波時使用可)	学校
津波一時待避所	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



⑤高潮被害

●地区別高潮被害の特性

●避難環境評価

●高潮浸水深

●凡例

-  指定緊急避難場所・ 学校
 指定避難所
 (高潮時使用可)  幼稚園・保育園等
 福祉避難所
 市役所・支所等
 警察署等
 消防署等
 救急病院
 水位観測所
 雨量観測所
 防災倉庫・防災資機材庫・
 その他備蓄倉庫等
 水防倉庫
 飲料水兼用耐震性貯水槽
 防災活動拠点
 衛生施設
 ● その他の施設
 小学校区界  市町村界
 鉄道  緊急輸送道路

